

貸借対照表

平成19年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	38,152	流動負債	528,290
現金及び預金	3,150	1年内返済長期借入金	469,400
短期貸付金	35,000	未払費用	42,502
その他	1	未払消費税等	7,851
固定資産	8,706,400	未払法人税等	8,160
有形固定資産	8,706,255	その他	375
構築物	5,431,663	固定負債	3,190,900
機械装置	1,933,932	長期借入金	3,190,900
車両運搬具	1,340,635		
工具器具備品	23	負債合計	3,719,190
無形固定資産	145	(純資産の部)	
電話加入権	145	株主資本	5,025,363
		資本金	6,809,600
		利益剰余金	1,784,236
		その他利益剰余金	1,784,236
		繰越利益剰余金	1,784,236
		純資産合計	5,025,363
資産合計	8,744,553	負債・純資産合計	8,744,553

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

自 平成18年4月 1日
至 平成19年3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額	
売上高 賃貸料収入		633,000
売上原価 賃貸原価		691,432
売上総損失		58,432
販売費及び一般管理費		21,751
営業損失		80,183
営業外収益 受取利息 その他	47 33	81
営業外費用 支払利息		1,694
経常損失		81,797
税引前当期純損失		81,797
法人税、住民税及び事業税		1,210
当期純損失		83,007

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

自 平成18年4月 1日
至 平成19年3月31日

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1-1. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産の減価償却方法は、定額法を採用しております。

1-2. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

1-3. 会計方針の変更

(貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準)

当期から貸借対照表の表示について「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準第5号 平成17年12月9日)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準適用指針第8号 企業会計基準委員会平成17年12月9日)を適用しております。

なお、従来資本の部に相当する金額は5,025,363千円であります。

2. 貸借対照表に関する注記

2-1. 有形固定資産の減価償却累計額		4,966,209千円
2-2. 有形固定資産の圧縮記帳累計額	構 築 物	1,727,003千円
	機 械 装 置	1,037,796千円
2-3. 関係会社に対する金銭債務	短期金銭債務	282千円

3. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

営業取引による取引高

売 上 高	633,000千円
仕 入 高	3,335千円

4. 一株当たり情報に関する注記

4-1. 一株当たり純資産額	36,899円10銭
4-2. 一株当たり当期純損失	609円48銭

5. その他の注記

貸借対照表、損益計算書及び個別注記表に記載されている金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。